

ギニア エボラへの対応

国連開発計画(UNDP)



Empowered lives.
Resilient nations.

背景

ギニアでは、エボラ出血熱(EVD)の感染者と死者が増大を続ける中で、国連エボラ緊急対応ミッション(UNMEER)や、UNDPを含む国連機関の支援を受け、国内の公共医療制度を通じて迅速な救命措置を実施するための国家対応計画を立ち上げました。エボラの蔓延によって、生産部門が麻痺したため、ギニアのマクロ経済成長は壊滅的な打撃を受けました。特に、ココアやパーム油などの主要輸出品の生産は、激減しています。鉱業をはじめとする民間セクターの事業は、外国企業が採掘拠点を閉鎖したことで、低迷しています。生活必需品の価格が上昇し、家庭生活に影響が及ぶ中で、家計所得はわずか6か月で13%近く減少しました。

UNDPの対応

取り組み 1: エボラ即時対応の調整と遂行の強化

アウトプット 1: 不可欠なサービスと危機対応調整の強化: 1) 危機対応調整を支援する国と地方の当局に対する援助、2) エボラ蔓延を予防するための国境での検査と地域警備を通じた、国内治安セクターの強化、3) 危機の経済的影響を監視、緩和する国家当局の能力強化

アウトプット 2: 正規およびボランティアの医療従事者に対する即時の現金支給を通じた、医療制度の強化: 1) 現金支給のメカニズムの立ち上げおよび強化と、現金支給メカニズムの運営能力の育成、2) 約7000人の正規の医療従事者と保健・救急医療作業員(すなわち埋葬チームや、心理社会的支援者)並びにコミュニティのボランティアに対する金銭的インセンティブの提供



ギニアで、エボラ啓発キャンペーンに従事する若手リーダー
Photo: Nicolas Douillet/UNDP

UNDPの活動

- 信頼を構築し、基礎的衛生サービスを確保するため、平和・治安ユニットの活動範囲が国境付近で拡大されています。国境地点には、41か所の検問所が開設されているほか、3つの移動式検査所が設置され、2か所の治療センターが本格的に稼働しています。
- 若手リーダーや全国のボランティアのネットワークと協力し、戸別訪問による啓発キャンペーンや、感染予防措置を実施しています。
- 社会経済的影響調査を実施し、エボラの経済影響に関する予備データを提供しています。

アウトプット 3: 廃棄物管理施設/加圧滅菌器を通じた、感染性のある使用済みエボラ治療用品/防護服の適切な処分

取り組み 2: コミュニティの関与強化

アウトプット 4: リスクにさらされている女性や若者といった集団の協力を重視したコミュニティの関与拡大: 1) 若者のボランティア・ネットワークの動員および養成による、啓発と保健教育の支援、2) 都市部における衛生改善への取り組みの推進

取り組み 3: エボラの社会経済的影響からの立ち直り

アウトプット 5: エボラの影響を受けた家族と、社会的最弱者世帯の生活安定化と強靱性向上: 1) 感染者とその家族(5000世帯)への社会的現金給付、2) 経済的な損失が大きい世帯(1万5000世帯)を対象とする緊急雇用と事業再建を通じた生活の安定、3) 農家を対象とする作物の買い入れ、4) 社会経済的影響の分析

詳しくは、下記にお問い合わせください。

United Nations Development Programme
One United Nations Plaza
New York, NY 10017
robert.juhkam@undp.org
+1 212 906 6376
www.undp.org/ebola

2014年11月